

歯科口腔外科

1. スタッフ（2024年4月1日現在）

科 長（教授）	森 良之
医 員（講師）	渡辺 秀紀
病院助教	土肥 昭博
	佐瀬美和子
シニアレジデント	2名
非常勤医員	1名

2. 診療科の特徴

地域医療連携型病院の歯科口腔外科として、他の医療機関からの紹介患者を中心に口腔悪性腫瘍、顎変形症、良性腫瘍、顎顔面領域の外傷、嚢胞、炎症、埋伏歯、唾液腺疾患、顎関節疾患などの疾患に対して診療を行っている。さらに白板症、口腔扁平苔癬などの口腔潜在的悪性疾患、アフタ性口内炎などの粘膜疾患や、糖尿病、心疾患、慢性腎不全、脳血管障害、血液疾患などの全身疾患を有する患者の歯科口腔外科処置も積極的に行っている。また、顎変形症の治療については近隣の歯科矯正医との連携がなされ、手術待機患者が徐々に増加している。今後さらに顎矯正手術件数の増加が見込まれる。このほか悪性腫瘍や心臓血管外科の周術期口腔機能管理や血液悪性腫瘍や癌患者に対する化学療法中、あるいは骨吸収抑制剤投与患者における薬剤関連顎骨骨髓炎発症予防および治療における周術期口腔機能管理を積極的に行っている。

認定施設

日本口腔外科学会指定研修機関
日本口腔科学会認定研修機関
日本がん治療認定医機構認定施設

指導医・専門医

日本口腔外科学会認定指導医・専門医
森 良之
日本口腔外科学会認定専門医
佐瀬 美和子
日本口腔外科学会認定認定医
土肥 昭博、安彦 圭吾
日本口腔科学会指導医・認定医
森 良之
日本口腔科学会認定医
渡邊 秀紀、土肥 昭博
日本顎変形症学会指導医・認定医
森 良之

日本がん治療認定医機構

がん治療認定医（歯科口腔外科）

森 良之、佐瀬 美和子

日本口腔内科学会指導医・専門医

森 良之

日本口腔診断学会指導医・専門医

内藤 浩美

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

内藤 浩美

3. 診療実績（2024年1月～2024年12月）

1）新患患者数 2,817名

再来患者数 21,981名

2）主な疾患別外来患者数

	疾患名	患者数
1	埋伏歯	976
2	口腔癌	27
3	顎変形症	17
4	口腔粘膜疾患	178
5	良性腫瘍	89
6	歯槽骨および顎骨骨折	19
7	蜂窩織炎	24
8	嚢胞	109
9	顎関節症	72
10	抗凝固療法中抜歯	705
11	歯科心身症	38
12	その他	2

3）入院患者数

	疾患名	入院患者数
1	埋伏歯	80
2	口腔癌	30
3	頸部リンパ節転移	3
4	顎変形症	5
5	顎骨骨折	5
6	蜂窩織炎	2
7	良性腫瘍	7
8	嚢胞	32
9	唾液腺疾患	2
10	骨髓炎	7
11	その他	10
	合計	183

4) 全身麻酔下手術症例病名別件数

	手術術式	手術件数
1	埋伏抜歯術	80
2	顎骨嚢胞摘出術	31
3	悪性腫瘍切除術	31
4	下顎枝矢状分割術	1
5	観血的整復固定術	5
6	良性腫瘍摘出術	7
7	唾液腺腫瘍摘出術	1
8	その他	21
	合計	177

5) カンファランス

病棟カンファランス	毎日 8:00～8:30
症例検討会	水 17:00～19:00
放射線カンファランス	月 17:30～18:30
再建カンファランス	適宜
MMカンファランス	毎月第4月曜 18:00～19:00

6) 来年度の目標

I. 研究・学会活動

臨床研究と学会発表の推進

- 1) 顎変形症患者に対する顎矯正治療における術前後での形態学および機能的変化に関する研究。
- 2) 入院患者に対する周術期口腔機能管理を拡大し、周術期口腔機能管理の臨床的意義と効果についての検討。

特に骨吸収抑制剤投与患者における薬剤性顎骨骨髓炎発症予防および治療における周術期口腔機能管理の効果に関する評価・検討。こうした臨床研究の学会発表および論文作成。

II. 臨床

- 1) 歯科医師会との交流を密に行い病診連携を強化することにより、口腔外科的疾患紹介患者のさらなる増員。
- 2) 入院および手術症例数および質の向上。
- 3) 口腔癌治療において、進展症例の治療成績の向上と機能温存を目的として関連科と連携を強化。
- 4) PFMでの周術期口腔機能管理において、より効率的なシステムづくりの検討。
- 5) 入院患者に対する周術期口腔機能管理の強化、NSTとの連携の継続。
- 6) 糖尿病患者に対して、合併症としての歯周病管理の患者教育を徹底。
- 7) 顎変形症患者に対する顎矯正治療システムの構築。
- 8) インプラント治療および骨造成、骨移植術開始。